

# 浄化槽の正しい使い方（自己管理チェック表）

浄化槽の使い方について確認しましょう！



## トイレでは...

1	トイレットペーパーや掃除シート等を使いすぎているか。	トイレットペーパーやトイレの掃除シートや赤ちゃんのお尻拭きシートを多量に使うと、短期間で汚泥がたまり、浄化槽の清掃の時期を早める結果となります。浄化槽に流してよいもの以外は、トラブルの発生やさらに清掃時期が早まる可能性があります。
2	新聞紙、紙おむつ、生理用品、ペットの糞等を流していないか。	水に溶けず詰まりの原因となったり、悪臭の発生原因となるので流さないください。
3	タバコの吸殻を捨てていないか。	詰まりの原因となるだけでなく、浄化槽内部の微生物にとって悪影響を及ぼします。
4	不要になった殺虫剤等を流していないか。	塩酸などの強酸やクレゾールなどの消毒液、防腐剤、庭の花木の殺虫剤等は流さないください。浄化槽は生きている微生物の働きを利用して汚水を浄化しています。
5	不要になった灯油を捨てていないか。	浄化槽が機能しなくなり、臨時の清掃が必要になることがあります。石油類も同様に流さないようにしましょう。

## 台所では...

1	魚や野菜くず等を細かくして流していないか。	浄化槽は台所のごみ全てを引き受けるようにはできていません。魚や野菜くず等はできるだけ流さないようにしましょう。
2	使い古しの食用油を流していないか。	廃油は台所のパイプが詰まる原因にもなりますし、浄化槽の機能低下の原因にもなります。凝固剤で固める等して燃やせるごみに出しましょう。フライパン、鍋等に付いた調理油もふき取るようにしましょう。

## お風呂では...

1	イオウ系入浴剤を頻繁に使ってはいないか。	イオウ温泉系の入浴剤は臭気の発生原因となる場合があるので、避けたほうが無難です。それ以外の入浴剤は適量使しましょう。
2	残り湯は活用しているか。	風呂の残り湯は洗濯に使う等して有効に活用する方が、浄化槽への負担を少なくすることができます。

## 洗濯のときには...

1	必要以上に洗剤を使用していないか。	洗剤は適量を使用する方が最も洗浄効果が高く、多量に使用した場合には、異常な発泡が起きたり、酸素が溶けにくくなるため微生物の働きに影響します。また、多少の漂白剤は問題ありませんが、塩素系の漂白剤を大量に使用することは避けましょう。
2	有リン洗剤を使用していないか。	最近の合成洗剤はほとんど無リンですが、一般的な浄化槽では、リン除去が難しいため、有リンのものは使わないようにしましょう。
3	風呂と洗濯の水を同時に排水していないか。	風呂の排水と洗濯の排水を同時にするなどの排水ラッシュはできるだけ避けましょう。大量の水を流すと浄化槽の機能が適正に働かず放流水質が悪化します。

## 浄化槽の上のスペースは...

1	マンホールやブロワの上には物を置いていないか。	マンホールやブロワの上に物を置くと、保守点検や清掃の妨げになってしまいます。また、送風を妨げることもあります。
2	灯油等の可燃のものが近くに置かれていないか。	ばっ気装置等のモーター近くには、灯油等の可燃性のものは置かないようにしましょう。

## こんな時は...

1	しばらく家を留守にするとき、ブロワ（送風機）の電源を切ったほうがよいか。	非常の時を除き、電源は切らないでください。電源を切るとブロワから空気が送られなくなり、散気装置が働かなくなります。そのため槽内の微生物が死んだり、働きが悪くなります。
2	別荘等で、数ヶ月使用しない場合、どのようにすればよいか。	保守点検業者、清掃業者に相談しましょう。浄化槽を長期間使用しない場合は、電源を切り、清掃して水を張っておき、使用再開にあたっては保守点検を行った後に、ご使用いただく場合があります。
3	家族に糖尿病の患者がいるが、どのようにすればよいか。	保守点検業者、清掃業者へ相談しましょう。保守点検の方法・頻度や清掃頻度等で対応した方がよい場合があります。
4	停電になったり、大雨等が起こった場合、どのようにすればよいか。	短期間の停電だけであれば、特別な措置は必要ありません。大雨等でブロワや制御盤等が水に浸かっているか確認しましょう。もし、水に浸かってしまった場合は、保守点検業者に連絡しましょう。